

平成30年度アクションプランにおける目標指標について(総括)

No.	目標指標				H30年度実績	対H30目標値	対前年度	
			H30	R1		R2	○…目標達成 (10%以上◎)	○…対前年比増 (10%以上◎)
							●…目標未達成	●…対前年度比減
1	病床利用率の向上	病床利用率	75.5%	77.5%	80.0%	78.7%	○	○
2	外来利用の促進	外来患者数の増加(医科)	1,9000人	1,9500人	2,0000人	16,834人	●	○
		外来患者数の増加(歯科)	5,200人	5,300人	5,400人	5,223人	○	◎
3	リハビリテーション提供体制の強化	提供単位数(回復期)	5.9単位	6.3単位	7.0単位	5.76単位	●	●
		提供単位数(その他)	3.7単位	4.1単位	4.5単位	3.59単位	●	●
4	手術体制の確保	手術件数の増加(医科)	80件	90件	100件	64件	●	○
		手術件数の増加(歯科)	15件	18件	21件	8件	●	○
5	医業収入の適正な確保	入退院支援加算対象者割合	57.0%	58.5%	60.0%	53.1%	●	●
		うち入院時支援加算対象者数	80人	80人	80人	加算対象者支援115人 (うち加算取得63人)	◎	—
		薬剤管理指導件数	160件	170件	175件	269件	◎	◎
		入院栄養指導件数	220件	225件	230件	217件	●	○
		超音波検査件数の拡大	150件	200件	250件	182件	◎	—
6	コストの縮減	時間外勤務の縮減	9.5時間/月	9.3時間/月	9.1時間/月	9.8時間/月	●	●
7	適切な医療サービスの提供	安心・安全なサービス提供の確保	重大事故ゼロ	重大事故ゼロ	重大事故ゼロ	重大事故ゼロ	○	○
		患者満足度の向上	80%以上	80%以上	80%以上	79.0%	●	○
8	高次脳機能障害	運転再開支援の充実	60人	66人	72人	73人	◎	◎
9	脊髄損傷	常時受入患者数	6.0人	6.75人	7.5人	11.3人	◎	◎
10	難病	常時受入患者数	19.4人	20.15人	20.9人	19.6人	○	○

前年度実績・目標値ともに●となった指標

ア リハビリテーション提供体制の強化(回復期・その他)
リハ職が増えない中で、大幅に患者数が増えたため患者1人あたりに提供できる単位数が減ってしまった。

イ 入退院支援加算対象割合
スクリーニングとダブルチェックの徹底により加算対象者の早期選別と確実な支援提供を実施したが、最終的に加算対象となる患者が見込みを下回った(転院等は算定できず自宅退院の場合のみ加算対象)。

ウ 時間外勤務の縮減
病床利用率の向上に伴い、センター全体で業務量が増加したことから時間外勤務時間が増えてしまった。
次年度では業務の見直しのほか、事務部門におけるノー残業デーの徹底など時間外勤務時間の縮減に向けて効率的な事務執行に努めていく。